

Daigas グループ カーボンニュートラルビジョンの策定について ～2050 年脱炭素社会実現に向けた挑戦～

2021 年 1 月 25 日
大阪ガス株式会社

Daigas グループは、地球温暖化対策への社会的要請の一層の高まりを受け、これまでの天然ガス利用拡大の取組みに加えて、再生可能エネルギーや水素を利用したメタネーション※¹などによる都市ガス原料の脱炭素化、及び再生可能エネルギー導入を軸とした電源の脱炭素化によって、2050 年のカーボンニュートラル実現を目指します。また、実現に向けた取組みを示すために「カーボンニュートラルビジョン」を策定しました。

当社は既に、カーボンニュートラル実現に向けて、「革新的メタネーション技術※²」「新たな水素製造技術※³」などの様々な研究開発に取り組んでおり、これらのイノベーションによって、当社グループ事業におけるカーボンニュートラル実現に挑戦します。今後も引き続き、産官学の様々なパートナー事業者とのアライアンスを推進するなど、研究開発をさらに加速します。

また、カーボンニュートラル実現のための技術革新には多くの時間や社会的コストがかかることから、それまでの確実な CO₂ 排出削減が重要となります。社会全体の CO₂ 排出量削減に貢献するべく、2030 年度のマイルストーンとして、以下の目標を設定します。

- ① 自社開発や保有に加えて、他社からの調達も含めて、国内外で 500 万 kW※⁴の再生可能エネルギー電源の普及に貢献します。
- ② 当社の国内電力事業における再生可能エネルギー比率を 50%程度※⁴にすることを目指します。
- ③ 年間 1,000 万トン※⁵の CO₂ を削減し、社会に貢献することを目指します。

当社グループは、今後もカーボンニュートラル実現に向けた技術・サービス開発を行い、気候変動をはじめとする社会課題の解決に努め、暮らしとビジネスの“さらなる進化”のお役に立つ企業グループを目指してまいります。

※¹：水素と CO₂ から都市ガス原料の主成分であるメタンを合成する技術

※²：水素の製造とメタンの合成を同時に行うため、従来よりも高効率にメタン合成が行える技術
「革新的メタネーション実現のキーとなる新型 SOEC の試作に成功」(プレスリリース参照)

※³：ケミカルルーピング燃焼技術を用いた水素製造技術。

「脱炭素化に貢献するケミカルルーピング燃焼技術の研究開発の開始」(プレスリリース参照)

※⁴：再エネには、太陽光、風力、バイオマスなどの固定価格買取 (FIT) 制度の適用電源を含む

※⁵：現在当社グループ及びお客さま先における CO₂ 排出量 (3,300 万トン/年) の 3 分の 1 に相当

以 上